

江東区 青少年委員だより

No.67号

江東区青少年委員会
広報部
江東区青少年センター
(仮事務所)
江東区北砂5-21-5
TEL.5633-6371
FAX.5633-4127

平成28年度 青少年委員会活動スタート

「江東区青少年委員会会長に就任して」



江東区青少年委員会 会長
大谷 誠

私は4月から平成28年・29年度江東区青少年委員会の会長を拝命いたしました大谷誠です。前任のたくさんの実績を残された小原会長の後任ということで身の引き締まる思いです。

私たち青少年委員会は、『次代を担う青少年の健全育成』を活動の目的として、江東区内都立高校紹介・中学生体験プログラムなどの事業を行っています。近年、青少年を取り巻く環境は、SNSを通してコミュニケーションを行う一方、有害と思われる情報が蔓延しており、子どもたちが重大な事件・事故に巻き込まれる事例が数多く出ており、家庭・学校・地域の見守りが大変重要です。

また、今回熊本地震では『揺れ』による被害が広がりました。東日本大震災では『津波の恐ろしさ』を知りました。近い将来発生するとされる首都圏直下型地震のような大規模災害時に、青少年委員が主催する事業の時に起こるかわかりません。私たちは子どもたちに安心・安全に避難をさせる義務があります。そのためにも行政と連携を密に、また関係各位と協力し合っていく必要があると思います。

今後も家庭・学校・地域の連携が図られるよう、青少年委員会の活動を進めてまいりますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

平成28年5月19日(木)、区役所において定例会後、第1回目の新任委員研修会が行われました。

始めに大谷会長があいさつ、藤村研修部長から研修の内容が説明され、前期2年間の活動を記録したDVDを見て、青少年委員会の具体的な活動状況を知っていただく機会となりました。

続いて瀬戸会計から会計システムの説明がありました。

学校・家庭・地域の懸け橋となり、青少年の健全育成のために今後の活動に活かしていくよう、9月定例会時に第2回目の研修会を開催する予定です。



平成28・29年度 青少年委員委嘱式

気持ちも新たに!!



平成28年4月7日(木)、江東区役所において、平成28・29年度青少年委員委嘱式が行われました。10名のメンバーが交代し、46名の青少年委員が山崎区長から一人ひとり委嘱状をいただき、気持ちを新たに活動を開始いたしました。

青少年委員会 活動記録DVDを 見ながら

新任委員研修会



平成 **28** **29** 年度

各部長 **各地区長**
各実行委員長の
ごあいさつ

● **専門部会**



「楽しく、より良い活動に」

研修部長 藤村 幸弘

今期（28・29年度）の研修部は14名の精鋭で活動してまいります。

活動内容としては、新任委員研修会の実施、研修会の企画・開催、生涯学習施設見学、宿泊研修会の実施等を行います。

青少年委員の皆様方は、PTAでは会長、副会長、本部等で活躍、また各地域では町会役員等で重責を果たされている方々ばかりです。青少年委員同士の親睦を深めながら、青少年委員としての見識を高め、常に前向きに行動していくことが大切であると思っています。

研修部の一人ひとりが積極的に意見交換・提案をしながら、みんなでより良い研修部を築いていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



「生きぬく力」

青少年育成部長 品川 辰彦

青少年委員会は委員が活動を円滑に行うためにあります。部会も同じです。地域で健全育成を担う部員一人ひとりが力を存分に発揮できる部を築きます。青少年に必要な生活体験、生身の人間同士の交流の機会を提供し、家庭・学校・地域に提案します。ジュニアリーダーや中学校生徒会との交流を通して、自ら考え行動する青少年を育成します。



「新年度の抱負」

広報部長 池田 治雄

今期広報部は14名で活動していきます。

過日の日経新聞のある欄に「自分の脳を過信せず、他人の知恵を借りてショートカットするべき。」とありました。これは「パクリ」や「人の権で相撲をとりなさい」との推奨の言葉ではなく、私には適材適所の人員配置こそが肝要だと受け取りました。

個性豊かな13名の各々の持ち味を出し、青少年委員の様々な活動を丁寧取材し、記事にしていきます。その引き出し役が私になりますが、作り手は楽しんで、読み手は読んで嬉しくなるようなものを作成できるように努めます。

● **地区会**



「心をひとつに！」

深川南部地区長 和田 真紀子

前深川南部地区長の青木さんからバトンを引き継ぎ、今期地区長を務めさせていただくこととなりました。深川南部地区は、各地区の中で一番委員数が多く、14名おります。

大谷会長をはじめ、会の皆さんと協力しながら楽しく「心をひとつに！」をモットーに活動していきたいと思ひます。前期青木さんが掲げた「会の力となれる地区に」を念頭に、さらに連携を深め、コミュニケーションが図れるよう頑張ります。

微力ではございますが、2年間どうぞよろしくお願ひいたします。



「はじめまして」

深川北部地区長 笹井 隆一

この度、新人ながら深川北部地区長という大役を引き受けさせていただくことになりました、笹井です。初めての青少年委員でわからないことも多々ありますが、皆様に協力をお願いしながら、力を合わせ、今期2年間を頑張っていきたいと思ひております。

深川北部地区は、昔から地域の方々との関わりが深い地域です。そのため、私たちは学校・家庭・地域の架け橋となるよう、青少年の健全育成に努めます。そして、地域のコーディネーターとして、仲良く楽しみながら活動していきたいと思ひておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



「五つの輪」

亀戸地区長 田中 健祐

今期から地区長を務めさせていただくことになりました。年齢的には最年長ですが青少年委員のキャリアは2年間だけなので不安です。

しかし、亀戸地区は5人のメンバーがお互いを助け合うチームワークのいい地区です。それはまるで、五つの輪が重なり合って調和のとれたオリンピックのシンボルマークのようです。私自身何もできませんが、五つの輪をうまくつなげる役目を地区長としてやっていこうと思ひますので、よろしくお願ひします。



「楽しく活動を！」

大島地区長 浅野 秀一

今期は、6校より選出された委員が全員続投となります。フレッシュさは有りませんが、成熟した大人の魅力で一致団結していきます！今まで以上に、地域の団体と協調して架け橋となれる活動ができればと考えています。前期同様に楽しくやることをモットーに頑張っていきますので、よろしくお願ひいたします。



「みんなの笑顔のために」

砂町地区長 遠藤 浩市

砂町地区は二砂中学校の校長先生をお迎えし13名での活動をしています。頼もしい先輩が退任され不安でしたが、4人の大型の新人が加わり、活気のある砂町地区となりました。

学校・地域の各団体との交流を通じて成長しながら、"明るく笑顔"のある子どもたちと地域のために私たちが"明るく笑顔"で頑張ります。よろしくお願ひします。

● 実行委員会



「子どもたちと共に 楽しめる区民まつり」

区民まつり実行委員長 吉葉 富雄

青少年委員諸先輩が築き上げた「もちつき」から「なつかしの縁日」として射的、ポン菓子を始めました。多くのプレッシャーの中での船出でしたが、現青少年委員の多大なる協力もあり、子どもたちのみならず江東区民にも楽しんでいただいているようです。

これならば、先輩諸氏にもお許しがいただけるのではないかと考えているところです。

今年も子どもたちを楽しませながら、自分たちも区民まつりを楽しんでいきます。

子どもの笑顔は親の喜び、親の笑顔は子どもの喜びをモットーに頑張ります。



「ほんとうに行きたい 高校を選ぶために」

都立高校紹介実行委員長 橋本 俊雄

都立高校紹介実行委員会は、新任委員4名、再任委員11名、そのうち都立高校紹介経験者は名司会伊藤校長先生含めて7名という総勢15名のメンバーで、記念すべき第10回を今年も、ティアラこうとうの大ホールで行います。

「行ける高校ではなく、行きたい高校に!」を合言葉に、参加した小中学生が自分の行きたい高校を選択できるように、最善の運営を考え、発表する高校生たちも、大舞台での発表が素晴らしい経験になるように、しっかりサポートしていきたいと思ひます。

みなさんと一緒に高校生の発表に、小中学生の喜ぶ顔に、感動したいと思ひています。どうぞよろしくお願ひいたします。



「笑顔あふれる 晴れの日のために」

成人式実行委員長 青木 裕子

「新成人おめでとうございます。」「ありがとうございます。」「ありがとうございます。」その様な会話をしみながら、毎年成人式のお手伝いをしてまいりましたが、今期、成人式実行委員長を務めさせていただくことになりました。

新成人の門出を祝う大切な行事に、青少年委員として行政のお手伝いという立場ではありますが、参加できることは私自身大きな励みになっております。新成人の笑顔あふれる日であり、礼儀正しい姿勢に私たちも嬉しくなる日と思ひております。一生に一度の思い出深い成人式となりますよう、青少年委員として皆様のご協力のもとに力を発揮したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

地区会探検!! 第1回 深川南部地区



活動しよう
楽しく、心をひとつに!
をモットーに!

和田地区長を中心に、新任2名が加わる南部地区(7校)臨海地区(7校)計14名からなる深川南部地区が活動を開始しました。

6月2日(木)に第1回地区会が行われ、今期の行事確認、昨年に引き続きジュニアリーダー講習会のひとり1回必ず参加、前期から毎年開催になった三者懇談会の日程の調整などを話し合いました。

今後も、学校・PTA・地域との横のつながりを充実させるために、地区会を通して情報交換をしながら連帯を深め、和田地区長を盛り上げようと誓ひ合いました。

都連合定期総会



平成28年6月4日(土)、代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターで、都連合定期総会が開催され、大谷会長をはじめ11人の委員が江東区青少年委員代表として参加しました。

就任のごあいさつ



江東区 地域振興部 青少年課長
小林 愛

大谷会長を始め、青少年委員のみなさまには、日頃より青少年の健全育成にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

松下幸之助は、「お得意先に行って、『君のところは何をつくっているのか』と尋ねられたら、『松下電器は人をつくっています。電気製品もつくっていますが、その前にまず人をつくっているのです。』と答えなさい。」と、よく職員にアドバイスしていたと言います。青少年の育成は、松下幸之助の言う企業における人づくりの根幹を支える大切な部分だと思っています。

今日の青少年を取り巻く社会環境は厳しく、いじめや不登校の問題をはじめ、非行の低年齢化や引きこもり・ニートなど社会生活に適應できない青少年が増加し、様々な問題も生じている一方で、江東区の青少年人口は増加しており、次代を担う青少年を健全に育成することは、地域の活況を創り出す原動力にもなると考えています。

今後とも、青少年委員のみなさまの、行政はもとより学校・家庭・地域をつなぐコーディネーターとしての力を発揮していただき、積極的な活動を通じて、青少年の健全育成事業にご協力いただきますようお願い申し上げます。



江東区青少年センター 所長
末 廣 準 一

青少年センターが築 25 年経過し、老朽化に伴う大規模改修工事中と同時に、来年度は指定管理者を導入した形で変容して参ります。

時代は戦後 71 年を経て、物が溢れ豊かになり、権利・自由になればなるほど、昔では考えられない凶悪犯罪が横行し、街中を安心して歩けなくなってきました。災害がいたるところに頻発し、いつ何が起こるか分かりません。それでも世の中は争い、嘘偽りが止むことなく、大手を振って歩いています。

こどもは中高生くらいから心身ともに自立していきますが、その時に道標となる先人を発見できた人は幸いです。しかし、大人の悪いことを覚え、それが人生とされることは大変残念なことです。また、弱肉強食の激しい社会に適應できずひきこもってしまうケースもあるでしょう。

それを未然に防ぐため、青少年の健全育成を支援すると同時に、これからの人生航路の寄港地であることを、職員一同願っています。そのためには、バイタリティ溢れる青少年委員の皆様の活躍が不可欠です。しばらくは改修・改編でご迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願いいたします。

青少年センター 職員紹介 (青少年委員担当)

小倉 量子

青少年委員担当 2 年目となり、引きつづき委員のみなさまとお顔を合わせられることをうれしく思っております。

昨年度、青少年委員のみなさまから温かいご指導をいただき、共に活動した経験は、私にとって、とても勉強になり充実した 1 年間でした。今年度は 10 名の新任委員さんを迎え、1 期目の青少年委員活動が始まりました。改めて気持ちを引きしめ、みなさまの活動が円滑におこなえるよう、サポートさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

大森 教尋

このたび、人事異動で青少年センターに異動してきました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

青少年委員会は、まさに青少年の健全育成のために日々活動され、その発展は、区の青少年事業にもつながると感じています。

青少年センターでも、青少年育成の目標・目的に向かって、青少年委員会と協力していくことが必要です。今後、青少年センターは指定管理をむかえ、青少年委員活動も新たに考えていかなければならない節目であると考えます。その節目に青少年委員担当として、青少年事業の支援を担うことを真摯に受けとめ、業務に取り組んでいきたいと思っております。



(小倉)

(大森)

編集後記

今期私たちの部は、14 名で務めます。各部員の特技やアイデアをフルに活用して、青少年委員の活動をより多くの人たちに知っていただけるような誌面作りを手掛けていきます。
(H・I)